

# 「ありがとう」の 気持ちを込めて



～開成幼稚園児が町長へパンジーのプレゼント～

2月25日(月)、役場町長室で、3月に卒園を迎える開成幼稚園の年長園児が、さまざまな幼稚園の行事に来てくれた感謝の気持ちを込めて、町長へパンジーをプレゼントしました。

このパンジーは、開成町幼・小・中・高連携事業の一環として、吉田島農林高校園芸科の生徒からパンジーの苗の植え方や世話の仕方を教わり、幼稚園児が一生懸命に育ててきたものです。

町長がうれしそうにパンジーを受け取り、さっそく町長室に飾ると、園児たちの顔にも誇らしげな笑顔が見られ、水やりの仕方などを教えてくれました。

☎教育総務課 ☎84-0324



## 国や文化の違いを 越えて交流

越

～開成小学校で国際交流～



3月4日(火)、開成小学校で6年生の社会科の授業を利用した国際交流事業が行われました。この日小学校にやってきたのは、神奈川工科大学で学ぶインド、韓国、中国、タイ、モザンビークの留学生計8人。

留学生たちは、4クラス2人ずつに分かれ、出身国の位置や言語、食生活などを日本語で児童に紹介してくれました。タイの留学生は民族衣装をまったり、モザンビークの留学生はアフリカで見られる動物の木彫りを見せたりと、趣向を凝らした授業に、児童たちは興味深く聞き入っていました。

給食もいっしょにとり、昼休みには児童が縄跳びや日本の歌を披露し、留学生を喜ばせました。縄跳びには、留学生も参加して大いに盛り上がりました。

児童と留学生たちは、国や文化の違いを越え、交流を深めました。

☎企画政策課 ☎84-0312



## 圧巻！ つるし雛

6000個の

～里のひなまつり～

2月14日(土)から3月9日(日)まで、瀬戸屋敷で町婦人会主催「ひなまつり」が行われ、連日多くの観光客でにぎわいました。

見どころの一つに、主屋の天井からつるされた手づくりのつるし雛があります。その一つ一つは小さいですが、6000個ともなると圧巻です。

また、休日の催しで人気だったのが、おひなさまと写真を撮るサービス。色鮮やかな着物を着せてもらった子どもたちが会場内を歩くと、見事なひな人形やつるし雛に目を奪われていた観光客たちもそのかわいらしさに思わず笑顔がこぼれ、会場は暖かい春の雰囲気になっていました。

☎産業振興課 ☎84-0317



この広報紙は環境にやさしい大豆インキを使用しています。